

ニュース

除草剤「ラピディシル®」が2025年日経優秀製品・サービス賞 グローバル部門賞を受賞

2026年01月05日

住友化学が独自で開発した除草剤「ラピディシル®」(有効成分商標。一般名：エピリフェナシル)が、このたび、2025年日経優秀製品・サービス賞において、「グローバル部門賞」を受賞いたしました。当社として、日経優秀製品・サービス賞の受賞は初めてとなります。



Empera™：アルゼンチンをはじめとする各国での「ラピディシル®」製品ブランド名



日経優秀製品・サービス賞は、日本経済新聞社が毎年1回、特に優れた新製品・新サービスを表彰するもので、1982年に日経・年間優秀製品賞として始まり、今回で44回目となります。日本企業がその年に新たに販売した商品・サービスを対象に、技術開発性、価格対効果性、業績寄与度、成長性、独自性、産業社会へのインパクトの項目を総合的に評価して審査されます。

2025年日経優秀製品・サービス賞には、最優秀賞、5つの部門賞および審査員特別賞があり、当社は「グローバル部門賞」を受賞しました。25年は応募総数201件あり、グローバル部門賞には4件が選ばれました。

「ラピディシル®」は、住友化学が独自に開発した有効成分で、PPO阻害剤※と呼ばれる除草剤に属しています。24年に世界で初めてアルゼンチンで農業登録を取得し、販売を開始しました。

ラピディシルの概要：

- ・ **速効性、低薬量で効果発揮**：既存の除草剤に比べて、速効性が高く、少ない薬量で卓効を示す
- ・ **幅広い雑草への適用性**：イネ科を含む幅広い雑草に高い除草効果を示す
- ・ **リジェネラティブ農業への貢献**：作物播種前の雑草を防除し、不耕起栽培に適した性能を有することから、土壌保全と二酸化炭素排出量の削減によるカーボンニュートラルへの貢献が期待
- ・ **グローバル市場での事業成長性**：2024年のアルゼンチンでの上市に続き、26年には米国、27年にはブラジルでの登録取得・上市を見込んでいる。「ラピディシル®」を含む不耕起栽培用除草剤で、年間1,000億円規模の売上収益を目指す

今回の審査で、「ラピディシル®」は、こうした特長やグローバル市場での高い事業成長性が評価されました。

住友化学は、今回の受賞を励みに、革新的な農業ソリューションの開発を通じて、持続可能な農業支援と世界の食糧の安定供給に引き続き貢献してまいります。

※ 葉緑体(クロロフィル)の生合成に関与する酵素「プロトポルフィリノーゲンオキシダーゼ」の働きを阻害する薬剤

ご参考

日経優秀製品・サービス賞

2024年7月25日付ニュースリリース アルゼンチンで新規除草剤「ラピディシル®」の農業登録を取得〜リジェネラティブ農業に貢献する大型製品への展開を始動〜

以上

お問い合わせ

住友化学株式会社

コーポレートコミュニケーション部

<https://www.sumitomo-chem.co.jp/contact/public/>

